

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	ミクロ経済学特論 A		担当教員	小松原 崇史				
	英語授業科目名	Microeconomics A		単 位	2	学 期	前期		
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連					
履修条件	特になし。								
テーマ・副題	ミクロ経済学の基礎理論を学ぶ。								
授業の教育目的・目標	ミクロ経済学の基礎理論を学び、経済分析ができるようになることを目指す。								
授業の理解度の達成目標	ミクロ経済学の基礎概念や基本的な理論モデルの構造を説明できること。								
授業キーワード	需要と供給、市場、価格								
授業の内容	テキストの内容を検討し、ミクロ経済学の基礎理論を理解する。								
授業の方法	テキストの箇所を指定し、受講者に発表を求める。以下のスケジュールは、受講者の理解度によって、多少変更する可能性がある。								
授業展開	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. はじめに 2. 経済学の十大原理 前半 3. 経済学の十大原理 後半 4. 経済学者らしく考える 前半 5. 経済学者らしく考える 後半 6. 相互依存と交易からの利益 前半 7. 相互依存と交易からの利益 後半 8. 市場における需要と供給の作用 前半 </td> <td style="vertical-align: top;"> 9. 市場における需要と供給の作用 後半 10. 弾力性とその応用 前半 11. 弾力性とその応用 後半 12. 需要、供給、および政府の政策 前半 13. 需要、供給、および政府の政策 後半 14. 消費者、生産者、市場の効率性 前半 15. まとめ </td> </tr> </table>							1. はじめに 2. 経済学の十大原理 前半 3. 経済学の十大原理 後半 4. 経済学者らしく考える 前半 5. 経済学者らしく考える 後半 6. 相互依存と交易からの利益 前半 7. 相互依存と交易からの利益 後半 8. 市場における需要と供給の作用 前半	9. 市場における需要と供給の作用 後半 10. 弾力性とその応用 前半 11. 弾力性とその応用 後半 12. 需要、供給、および政府の政策 前半 13. 需要、供給、および政府の政策 後半 14. 消費者、生産者、市場の効率性 前半 15. まとめ
1. はじめに 2. 経済学の十大原理 前半 3. 経済学の十大原理 後半 4. 経済学者らしく考える 前半 5. 経済学者らしく考える 後半 6. 相互依存と交易からの利益 前半 7. 相互依存と交易からの利益 後半 8. 市場における需要と供給の作用 前半	9. 市場における需要と供給の作用 後半 10. 弾力性とその応用 前半 11. 弾力性とその応用 後半 12. 需要、供給、および政府の政策 前半 13. 需要、供給、および政府の政策 後半 14. 消費者、生産者、市場の効率性 前半 15. まとめ								
成績評価方法	発表の内容（75%）、参加の状況（25%）により評価する。								
成績評価基準	総点において、100点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がCで合格とし、59点以下をDとし不合格とする。								
テキスト	N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 I ミクロ編（第3版）』2013年、東洋経済新報社を用いる。								
参考図書									
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	各時間に指定されたテキストの内容について、スライドを作成する。（毎週4時間程度）								
学生へのメッセージ									
オフィスアワー	授業時に連絡する。								
連絡先	電話番号	0270-32-1011		メールアドレス	komatsubara@jobu.ac.jp				
人数制限	なし								